

教科	国語	科目	ベーシック国語	開講学期	前期・後期	単位数	1・1	試験	前期・後期
タイプ	I	リポート数	3・3	スクーリング必要時数	2・2	スクーリング実施時数	6・6		
教科書(発行者)	高校国語入門(東京書籍)								
補助教材(発行者)	自作ワークシート								

科目的目標	これまでに学んできたことを確認し、基礎的な知識を身に付けることを通して、国語を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を育成する。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	中学校卒業段階で必要とされる、漢字や言葉のきまり(文法)を習得する。	小説と隨筆の読解の基礎を習得する。	・基礎的な漢字や言葉のきまりについて興味を持ち、知識を得ようとする姿勢が見られる。 ・作者(筆者)の表現を、味わって読むことができる。

評価の観点 及び その趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	常用漢字や文法について、基礎的な知識を習得している。	・小説のあらすじをつかみ、登場人物の心情を読み取ることができる。 ・隨筆を読み、話題の中心や筆者の見方・考え方を読み取ることができる。	・リポートに意欲的に取り組み、期日までに仕上げることができている。 ・文章表現についての教師の解説を聞くことができている。

単位認定	全リポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はリポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	リポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	漢字のまとめ 日本の文学	第1・2回	前期
	第2回	漢字のまとめ 語句の意味	第3・4回	
	第3回	言葉のきまり 現代文(小説)	第5・6回	
後期	第4回	現代文(隨筆・評論)	第7・8回	後期
	第5回	現代文(韻文) 古文入門	第9・10回	
	第6回	漢文入門	第11・12回	